

## 障害持つ警備員が活躍

### 「優秀勤労」で初の大臣表彰

#### 富士総合警備保障

厚生労働省は9月9日、障害者雇用に積極的に取り組む事業所や、職場で活躍する障害を持つ従業員に

「厚生労働大臣表彰」を贈った。東京都千代田区内で行われた表彰式において福岡資麿厚労相は「表彰者は



表彰状を手にする中原さん。隣は同社の田中茂常務取締役



表彰される中原さん（左は厚労省・村山誠職業安定局長）

地域社会の模範」とたたえ、障害者雇用への一層の理解と協力を求めた。

「優秀勤労障害者」表彰では、富士総合警備保障（鳥取市、谷口道明代表取締役）に勤務する中原恒次さん（56）が、警備員として初めて大臣表彰を受賞した。

中原さんは陸上自衛隊勤務などを経て約18年前に富士総合警備保障に入社。20代の頃に統合失調症を発症、「精神障害者保健福祉手帳3級」の交付を受けるが、以前から障害者雇用に積極的に取り組んできた同社に「勤務には支障がない」として採用された。

中原さんは、現在も就寝前1回の薬服用を続けるが、業務への支障はなく、単独での現場勤務も行う。

「交通誘導警備業務2級検定合格警備員」の資格も取得。現場のリーダー役として業務に当たり、取引先から「指名」されるなど社の内外から高い信頼を得ている。

中原さんは本紙に「受賞の報せは（所属する倉吉支店の）支店長から聞きました。現場は夏は暑く、冬は寒く大変です。車両の運転手からクレームをつけられるなど苦労もありますが、これまでの仕事が認められ、うれしいです」と、受賞の喜びを語った。

2024年に民間企業で雇用される障害者は約67万7000人。21年連続で過去最高となった。雇用される障害者の割合は13年連続で過去最高を更新中だ。